

加速器設備を中心に・・・理化学研究所見学会開催

2013.11.15



RIBFサイクロペディアにて見学記念撮影



理化学研究所
日塔氏



産学連携推進室
白土室長



理化学研究所
吉田氏



理化学研究所
大竹氏

11月15日(金)14時から県内中性子利用連絡協議会の主催にて埼玉県和光市の理化学研究所(以下、理研)見学会を実施しました。当日は、県庁及びつくば研究支援センターを起点に会員企業他有志25名が参加し17時の見学会終了まで、充実した研鑽の時を持つことができました。

理研見学会の目的は、同所にある最先端加速器施設及び当該施設に設置されている理研小型中性子源システム「RANS」を見学することにより、産業への利用の仕方について身近に関知することにより、今般、理研のご好意により実現したものです。

見学会の冒頭、県商工労働部産業政策課産学連携推進室・白土室長の見学会主旨や理研への見学会ご協力謝辞挨拶があり、続いて理研広報担当・日塔氏から施設の生い立ちや概況が説明されました。その後、RIBFサイクロペディアへ移動し、同所で産学連携チームリーダー・吉田氏から加速器施設(SRC、BigRIPS等)の施設を同行説明聞き、参加者からは活発な質疑が飛び交いました。

更に、見学会場を理研小型中性子源システム(RANS)に移し、中性子ビーム技術開発チームリーダー・大竹氏から、同施設の案内と説明とを受けました。小型と言いつつも、10数mの規模を有する設備と独自開発の意気込みに見学参加者からは感嘆の声があがりました。特に、産業利用に向けて理研の意欲的な取組が、参加企業関係者に種々の思いを喚起したものと推測されます。

最後にRIBFサイクロペディアに戻り、全員で見学記念撮影を行い、とっぴりと日暮れた理研を後にしました。

「やさしい塑性加工講座」を開講

2013.11.14~12.3

昨年度に引き続き、本年度の「やさしい塑性加工講座(全3回)」が、県内中性子利用連絡協議会、茨城県、茨城大学、ひたちなかテクノセンターの主催、常陽銀行の後援により11月14日から12月3日に3回に亘り開講されました。

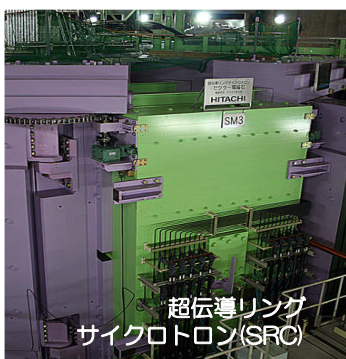
今回は、前年希望の多かった勤務時間内の午後3時からの開講としました。

各回とも企業経営者、ベテラン、若手の30名程の方が参加され、熱心に受講されました。また、今回は個別企業ごとの技術相談会の機会を設定したところ、2件の応募がありました。伊藤吾朗先生の講義の後、鈴木先生、永野先生も加わり、熱心な議論が取り交わされました。

今後とも技術力向上にむけて、行事等を企画してゆきます。会員企業の皆様のご参加をお待ち致します。



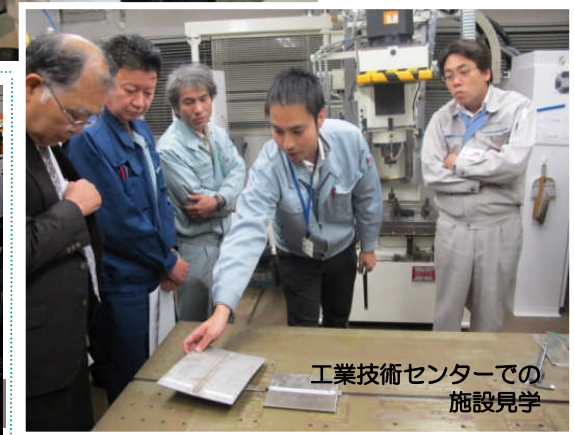
船津先生によるイントロダクション



超伝導リングサイクロトロン(SRC)



理研小型中性子源システム(RANS)を見学



工業技術センターでの施設見学